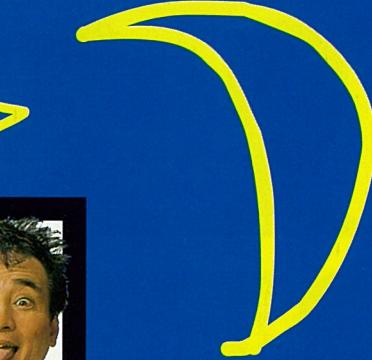


幹の会+リリック・プロデュース公演

作・ウイリアム・シェイクスピア
訳・小田島雄志
演出・鶴山仁



平幹二朗



麻乃佳世

幹の会

ロマンチック・コメディ



’98年4月14日(火)

黒部市国際文化センター コラーレ(カーターホール)

開場＝午後6時30分・開演＝午後7時

美術・堀尾幸男／照明・服部基／衣裳・朝月真次郎／音楽・水田平八／音響・深川定次／アシスタント・山崎潤子／演出助手・鶴山俊哉／舞台監督・栗飯原弘／写真・落合高仁／宣伝美術・山本利一／衣裳協力・MOOD et MOON MODE et MOON PRODUCTIONS／入場料(全席指定)：S席5,000円・A席(一般)2,500円・(学生)1,500円(当日は各500円増し)／前売り場所・コラーレ・マルシー・ロイヤルパビリオン／協賛・チューリップテレビ、富山エフエム放送／後援・黒部市・黒部市教育委員会



「十二夜」は、シェイクスピアが劇作家としての絶頂期にさしかかった時期に書かれ、その後の四大悲劇と対をなすシェイクスピア喜劇の最高作品のひとつです。

四大悲劇を中心としてシェイクスピア劇全作品上演の途上である平幹二朗は、ひとつの節目となる10番目の作品としてはじめて喜劇に挑戦。重厚なシェイクスピア悲劇の主人公を演じて定評のある平幹二朗が、今度はうつて変わって、けちで、自惚れ屋で、口うるさいマルヴォーリオ役をどう演じるのか、新しい魅力の発見が期待されます。また、ヒロイン、ヴァイオラ役は元宝塚歌劇団の娘役トップスターとして華々しい経歴をもつ麻乃佳世が演じます。退団後も様々なシーンでの活躍が注目される彼女との共演もおおいに楽しみなところです。そして、シェイクスピア劇には欠くことのできない実力派、個性派の舞台俳優たちが、多数共演いたします。

演出には、大劇場から小劇場まで、ひとつひとつ華麗で機知に富んだ舞台を演出し続けている鶴山仁があたります。彼が常に舞台で創出するやさしく、深い人間像はこの名作においても生き生きと活躍することになるでしょう。

本物の舞台の魅力に溢れた大人のためのロマンティックコメディにどうぞご期待ください。

■ものがたり

船が難破して双子の兄セバスチャンと別れわかれになったヴァイオラはイリリアの海岸に漂着する。彼女は船長に助けられて、イリリアの公爵オーシーノに小姓として仕えるため男装し、シザーリオと名乗る。折しも、美しいオリヴィア姫への恋慕に悩むオーシーノは、シザーリオをオリヴィアへの求愛の使者にたてる。ヴァイオラはオーシーノに一目惚れしてしまうが、あくまで男になりすましオリヴィアの屋敷に向かう。ところが、オリヴィアはオーシーノの使者として登場したヴァイオラを男とばかりに思いこんで、その美しさの虜になってしまう。

一方、オリヴィアに恋焦がれているのはオーシーノだけではなく、オリヴィアの執事マルヴォーリオと、飲んだくれの伯父サー・トビーにそそのかされその気になっている田舎紳士サー・アンドルもそうである。

侍女のマライアと道化のフェステは、いつも彼ら4人を軽蔑し不遜な態度で接する鼻持ちならないマルヴォーリオを「にせ手紙」をつかってからかうことにする。マルヴォーリオはにせ手紙に欺かれて、オリヴィアが自分に恋をしていると思いこむのだった……。

黒部市国際文化センター コラーレ

日 時 '98年4月14日(火) 開場 午後6時30分・開演 午後7時

場 所 黒部市国際文化センター コラーレ

入 場 料 S席5,000円・A席[一般]2,500円,[学生]1,500円
(当日は各500円増し)(全席指定)

主 催 (財)黒部市国際文化センター

前売り場所 コラーレ 0765-57-1201・メルシー 黒部0765-54-2221・
ロイヤルパリー 黒部0765-54-1000・サンプラザ 魚津0765-24-3030・
コスモ21 入善0765-74-9100・アスカ 朝日0765-82-2000・
インフォマート[市民プラザ, CiC] 0764-91-0110・YKKマルシェ

お問い合わせ (財)黒部市国際文化センター TEL 0765-57-1201

